

CWA NEWS



CWA設立 20 周年記念交流会



交流会と総会の出席者で記念撮影

総会が開催された6月22日(土)、ホテルポートプラザちば(千葉市中央区)でCWA設立20周年記念交流会が開催されました(46名出席)。

冒頭挨拶に立った茂木友三郎会長から、「平成16年5月29日、当協会の設立総会が開催されてから20年が経過し、この間、関係者のご尽力により、千葉県民とウィスコンシン州民との交流が続けられてまいりました。東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの影響で、途中、中断もありましたが、これまで派遣と受入を各7回行ってきました。

今年の秋には千葉県から5年ぶりにウィスコンシン州へ友好使節団を派遣します。今年の友好使節団の派遣を契機に、次の10年に向けて、千葉県とウィスコンシン州の交流がさらに深まることを期待しています」と述べられました。

続いて来賓の熊谷俊人知事から、「この30年あまりの間で延べ2千人を超える方々がこの両県州を往来し、交流の輪が着実に広がっていると感じています。これもひとえに、茂木会長をはじめとする皆様方の長年にわたる御尽力の賜物であり、深く敬意を表します。今、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエル・パレスチナの情勢を鑑みると、多国間のつながりが、国際社会に安定をもたらしていくことを改めて痛感いたします。こうした中で、顔の見える住民同士の関係、地方自治体同士の交流こそが真の国際的な理解の促進であり、また、連帯の輪を広げていくためには不可欠であると確信しております。これからも、貴協会をはじめ国際交流団体、県内市町村、大学などと連携しながら、文化、経済、教育などの分野で幅広くウィスコンシン州との国際交流を進めていきたいと考えております」と述べられました。

さらに、来賓のウィスコンシン千葉委員会の宮崎貴美子理事から、「ウィスコンシン千葉委員会を代表して、今年の使節団である、香取市の若い演奏家グループを10月ウィスコンシンに迎えることを楽しみにしています。彼らがこれまでとは違った世界で異文化に触れる貴重な体験となることを願っています」と述べられました。

次に、吉田和彦常務理事が今後交流がさらに深まるよう述べた後、乾杯の音頭をとり、各テーブルでは和やかに会食が始まりました。



茂木友三郎会長



熊谷俊人知事



ウィスコンシン千葉委員会の
宮崎貴美子理事



吉田和彦常務理事



会食中の様子



片野聡さん



浅沼社中の皆さん



Maxwell Kortebein さん

会食が一段落するとアトラクションが始まりました。

先ず、CWA設立後最初の友好使節団の団員である篠笛奏者 片野聡さんが、「佐原囃子」を演奏し、場内を一気にお祭り気分に変えました。そのあと「カントリーロード」を軽快に演奏した後、「アメイジング・グレイス」を心を込めて演奏し、出席者は聴き入っていました。

続いて、CWA運営委員である浅沼明夫さん率いる浅沼社中の皆さんの三味線演奏です。「じょんがら節」を一糸乱れず熱演したあと、三味線と太鼓をバックに浅沼さんが「黒田節」を朗唱し、続く「津軽甚句」「新津軽じょんがら節」では迫力ある三味線の音が場内に響き渡りました。

続いて、ALTのMaxwell Kortebeinさんが電子ピアノを演奏しました。『となりのトトロ』から「風の通り道」を軽やかなタッチで演奏し場内はファンタジーの世界に包まれました。

最後に、三者のコラボ演奏をバックに『となりのトトロ』主題歌の「さんぽ」を参加者全員で合唱しました。CWA運営委員の佐藤有華さんのかげ声のもと演奏と合唱の一体感が生まれ、場内はクライマックスを迎えました。

最後に大原美保子副委員長から交流会が盛会裏に終えられたことへのお礼を述べたあと、「20年のその先へ」という言葉で締めくり、交流会はお開きとなりました。

なお、今回交流会と総会が同一会場だったため、交流会に先立ち総会出席者も交えて記念撮影が行われました。

※この動画はCWAホームページ (<https://chiba-wisconsin.net/>) で公開中



コラボ演奏をバックに参加者全員で合唱

~~~~~  
 ウィスコンシン千葉委員会委員長からのメッセージ  
 Message from the President of Wisconsin-Chiba, Inc.  
 ~~~~~

Greetings from Wisconsin!

Congratulations on the 20th Anniversary of the Chiba Wisconsin Association.

The first Wisconsin Chiba exchanges were planned together by Wisconsin volunteers and the Chiba government staff after the signing of the sister state by former Governors Numata and Thompson in 1990. In 2004, Chiba citizens formed their own Chiba Wisconsin Association to plan, support, and carry out these exchanges in cooperation with the Chiba government.

Together the volunteers of CWA and WCI have explored one another's culture through the arts and foods, education and health care systems, agriculture and dairy industries, science and technology advances, environmental issues and tourism opportunities. And we hope to continue to expand the scope of these exchanges, life changing experiences, which enrich people's lives and deepen our friendship.

Even though our annual grassroots exchanges have experienced interruptions over the decades - the 2009 H1N1 flu pandemic, the 2011 Great Earthquake & Tsunami and most recently, the Covid-19 pandemic - these moments of pause have not deterred future exchanges from continuing.

This fall, we will once again look forward to welcoming & hosting a young delegation from Katori city, Chiba. Their trip to Wisconsin will include stays with local families and our hope is that as they explore their new surroundings, they will gain confidence to venture out, to immerse themselves in a different culture, to learn other ways of doing ordinary things, from shopping in different stores to preparing & eating new foods, all in English. But most importantly, our hope is that though they come as strangers, they will become members of their host families, and leave as friends. Together, we hope to create mutual understanding and empower participants to live boldly and

peacefully with one another.

This 20th anniversary marks the passage of time, remembering all the good these years have brought and the sense of community that each participant has helped to create. We express our appreciation and gratitude to the people of Chiba who have supported our Goodwill Delegation exchanges over the years.

Again, on behalf of Wisconsin-Chiba, Inc. we congratulate you, CWA, on your 20th anniversary and thank you for helping to cultivate genuine friendships and lasting goodwill between the citizens of the State of Wisconsin and the Prefecture of Chiba.

Sharon Rae Landergott Durtka
President
Wisconsin-Chiba, Inc.

ウイスコンシン州から御挨拶申し上げます!

千葉ウイスコンシン協会 20周年おめでとうございます。

ウイスコンシン州との千葉県との最初の交流は、1990年に沼田元知事とトンプソン元知事によって姉妹県州が締結された後、ウイスコンシン州のボランティアと千葉県の職員によって計画されました。2004年、千葉県民は千葉ウイスコンシン協会を結成し、千葉県と協力して交流の企画、支援、実施を行うようになりました。

CWAとWCIのボランティアは、芸術や食品、教育や医療制度、農業や酪農業、科学・技術の進歩、環境問題、観光の機会といった分野を通じて、お互いの文化を探求してきました。そして私たちは、人々の生活を豊かにし、友好を深める、そして人生を変えるような経験であるこの交流の範囲を、これからも広げていきたいと願っています。

2009年の新型インフルエンザの蔓延、2011年の東日本大震災と津波、そして直近では新型コロナウイルスなど、毎年行ってきた草の根交流は中断を余儀なくされましたが、こうした一時的な中断があっても、私たちの交流継続にとって妨げとなることはありませんでした。

この秋、私たちは再び千葉県香取市からの若い使節団を歓迎し、受け入れることを楽しみにしています。彼らのウイスコンシンへの旅には、地元の家での滞在も含まれており、私たちの願いは、新しい環境を探索する中で、思い切っ外へ飛び出し、異文化に自身が溶け込み、様々な店での買い物から知らない食べ物の準備や食事といった日常生活を異なる方法で行うことを学び、それら全ての事を英語で行う自信を身に付けることです。しかし、最も重要なことは、見知らぬ人として来たとしても、ホストファミリーの一員となり、友人として帰ってもらうことです。私たちは、参加者が相互理解を深め、互いに大胆かつ平和的に生きられるようになることを願っています。

この20周年という節目は、この年月がもたらしたすべての恩恵と、参加者一人ひとりが築き上げた共同体意識を思い起こしながら、時の流れを刻むものです。長年にわたり友好使節団の交流を支えてくださった千葉県の皆様に、感謝と御礼を申し上げます。

改めて、ウイスコンシン千葉委員会を代表し、ウイスコンシン州民と千葉県民との間に真の友情と永続的な親善を育むことに貢献してくださった千葉ウイスコンシン協会の設立20周年をお祝い申し上げます。

シャロン・レイ・ランダーゴット・デュトカ
ウイスコンシン千葉委員会 委員長

令和6年度理事会

6月22日(土)、ホテルポートプラザちば(千葉市中央区)において、令和6年度理事会を開催し、顧問(代理)1名、理事11名(うち代理3名のほか委任状提出理事7名)、監事2名が出席しました。

冒頭、茂木友三郎会長は「コロナ禍のため、この4年間は直に顔を合わせての交流ができませんでしたが、今年度は10月にウイスコンシン州へ友好使節団を派遣し、顔を合わせての交流が再開する予定です。また、総会後に開催される設立20周年記念交流会に是非ご出席いただきたい」と挨拶しました。

その後、令和5年度の事業報告及び収入・支出決算、令和6年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)等6つの議題が審議され、いずれも総会に付議されることになりました。次いでウイスコンシン州との交流状況について事務局から報告がありました。



令和6年度定期総会

6月22日(土)、ホテルポートプラザちば(千葉市中央区)において、令和6年度定期総会を開催し、正会員23名(この他委任状提出会員45名)が出席しました。

冒頭、大澤克之助副会長から、「友好使節団による交流については、コロナ禍によりこの4年間は出来なかったものの、今年度は文化・芸術分野のみですが、10月下旬にウイスコンシン州へ友好使節団を派遣することになりました。対面での交流が再開出来ますことに改めて感謝を申し上げます」と挨拶しました。

その後、会員の笹生健司さんを議長として、令和5年度の事業報告及び収入・支出決算、令和6年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)、理事・監事の選任(案)について審議が行われ、すべて原案のとおり承認されました。



CWA設立20周年記念特集 —20年のその先へ—



CWA 設立 20 周年を迎え、この 20 年を振り返るとともに、今後を展望するに当たり CWA に関わりの深い 3 名の方にお話しを伺いました。

元千葉県知事 堂本暁子さん

2001 年千葉県知事に就任された堂本暁子さんは、これまで行政主導であった千葉県とウィスコンシン州との交流を民間主導に転換すべくご尽力され、いわば CWA の生みの親ともいべき方です。

——堂本さんは知事になられてから 3 年後の 2004 年 3 月から 4 月にかけてウィスコンシン州を訪問しています。当時の思い出をお聞かせください。



ジム・ドイル知事を表敬

訪問した時は、大統領選と重なり、大統領候補にアラスカ出身の女性がいきました。アラスカからワシントンまでの距離と千葉からワシントンまでの距離はほぼ同じなので、「カリフォルニア生まれの私も大統領に立候補できるわね」と私が冗談を言うと、ドイル知事が「保証人になろう」と冗談で返してくれて大笑いしました。

——交流主体を民間団体に変えるとの知事の意向もあり、2004 年 5 月には、CWA 設立総会が開催され、以来幅広い交流が継続しています。20 年を振り返って感想などをお聞かせください。

千葉県とウィスコンシン州とのご縁ができたのは、キッコーマンがウィスコンシン州に海外工場を持ったことがきっかけでした。

醤油がアメリカで流行りだし、キッコーマンが工場を建てたことがきっかけとなり行政主導で姉妹交流が始まりました。その後民間団体の千葉ウィスコンシン協会ができてからは行政と民間が一体となってオール千葉としてウィスコンシン州との交流を継続してきました。

両県州の交流は、文化的交流だけではなく、大学同士（学術分野）の交流とか、教育分野など、幅広い分野に拡がり交流を継続できたことは、とても貴重でしかけがえのないことです。どちらにとっても友情を深められたことは素晴らしいことだったと思います。

特に、こうした交流が若い世代に引き継がれ、継続していることはとても貴重で素敵なことですね。

——今秋文化・芸術グループとして、県立佐原高校の伝統芸能（佐原囃子）の部活動をしている生徒 6 名と 2005 年の使節団員で佐原囃子のメンバーだった片野さんがリーダーで派遣されます。片野さんはウィスコンシン州に派遣されたことがきっかけで人生が変わり、現在篠笛奏者として世界各地で活躍しています。

いい話ですね。できたら、来年ウィスコンシン州からの友好使節団が佐原に来た時に、片野さんたちの演奏も聴きたいし、話もしたいです。

——今後の CWA 活動への期待をお聞かせください。

千葉県とウィスコンシン州との交流が 30 年以上も続いていることは素晴らしいことで、県にとって宝もののひとつだと思います。

世代が変わっても続けていくこと、つないでいくことが大事ですが、毎回同じでありきたりだと飽きがきます。迎える側で、心のこもったおもてなしはもちろんですが、見ごたえのある、本当に良かったと思える、充実した迎え方が出来たらいいと思います。いろいろ工夫して、変化もつけることも必要です。

もうひとつ付け加えると、上手に広報してほしい。テレビ媒体を活用することも有効です。一部の方だけではなく、千葉県の多くの方に幅広く千葉県とウィスコンシン州との交流の実態を知ってもらうことが必要だと思います。また、お金をかけずにウィスコンシン州の方に、千葉県のことを知ってもらうための PR が必要です。

——2022 年 CWA では姉妹交流 30 周年記念増刊号の英語版を作ってウィスコンシン州側にかなりの部数を送っています。翻訳はウィスコンシン州から来た ALT にやってもらいました。全国的にみても、千葉県に来ている ALT のレベルが高く、ここにも交流のメリットがあると思います。

最高、それはすごいですね。ウィスコンシン州側はビックリしたんじゃないかと思います。

——CWA では設立以来 ALT との関係性を重視した活動を展開しています。毎年、新任 ALT 歓迎会やバーベキューパーティー、ターキーをメインとする食文化交流会を実施しています。また、サンクスギビングなどのイベントは、千葉市の生涯学習センターの調理室を利用して太巻き寿司づくりの体験など日本文化の理解にもつながる家庭的な対応を心がけています。

とってもいい。ほかではこうした経験を得られないし、素晴らしいことです。

——最後にひとことお願いします。

千葉県知事にならなかつたらウィスコンシン州に行くことはなかつたと思います。お陰でウィスコンシン州知事とおつきあいできたことなど、とても楽しい思い出をいただきました。今日はウィスコンシンのことを色々思い出しました。とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



CWA運営委員長の森山茂男さんと前派遣・受入れ事業部会長（前事務局長を兼務）の青木靖子さん

お二人は、CWA発足以降 20 年、ウイスコンシン州との交流事業の企画・運営をはじめCWAの各種事業を行う運営委員会において指導力を発揮しつつ地道に活動を続けてきました。

ウイスコンシンとの出会いについて



2005 年 CWA 最初の千葉県友好使節団

森山さん：2001 年県職員としてウイスコンシンに派遣されたのが始まりで、WCI(ウイスコンシン千葉委員会、以下同じ)の方々から初めて会ったとは思えない温かい歓迎を受けました。その時、WCIのある方から「私達は 10 年やっているが、県庁は知り合いになっても直ぐに人が変わりむない」と言われ、退職間近な私は「退職後も活動に関わりたい」と伝えました。

その後、CWA 設立前の千葉ウイスコンシン交流事業検討委員会（以下「検討委員会」と言う）に参加し、CWA 設立後最初の派遣（2005 年）のフェアウェルパーティでその方に「約束を果たしています」と伝えることができました。

青木さん：私は県で外国人相談員をしていたのですが、2003 年に県の担当者から「ウイスコンシンに興味ありますか?」と訊かれたのがきっかけで検討委員会に参加し、2004 年 3 月のウイスコンシン州の派遣メンバーに加わり、文化・芸術グループを中心にお手伝いしました。CWA 設立後本格的に関わることになりました。

派遣・受入れを円滑に進めるポイント

森山さん：WCI との窓口を青木さんに一本化し、個別の分野では青木さんが文化・芸術分野、私がバイオマス、行政が教育と分野を分担しながら連携してきたのが良かったと思っています。また、国際課には活動全般にわたってサポートしていただいていることも大きいと思います。

派遣・受入れで楽しかったこと、苦労したこと

森山さん：バイオマスグループは、WCI のカウンターパートと訪問先等を調整して、バイオエタノール工場や下水処理施設などを見学できたのでとても楽しかったです。

青木さん：文化・芸術グループは、当初ウイスコンシン州側も組織としての対応ができていましたので、担当者と事前に相談し当日には協力してステージを成功させたことは良い思い出になっています。トップが替わるとやり方も異なりそれに慣れることは難しかったのですが、現地のサポーターの方々のご支援のお陰でやってこれたと思います。

20 年間で一番つらかったのはなんですか?

森山さん：2009 年の新型インフルエンザや 2011 年の東日本大震災で使節団の派遣・受け入れが延期になった時です。航空券のキャンセル料がいくらかかるのかなど、後始末が大変でしたが、青木さん中心に対応していただき乗り越えることができました。

その後も、2020 年に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で交流事業が延期になりました。その時が一番きつかったし、昨年の市川市の受入れ中止もつらかったです。

今年は久しぶりに県立佐原高校の生徒たちを中心に派遣します

森山さん：佐原は佐原大祭という伝統がある土地柄で、地域全体で交流を盛り上げようという機運が感じられ、多くの成果が得られものと期待しています。また、来年ウイスコンシン州友好使節団の受入時も地域の方で盛り上がるものと期待しています。

派遣・受入れをお願いする地域について

森山さん：佐原以外にも地域全体を盛り上げるところは他にも沢山あると思います。そのため、積極的に地域情報を収集していく必要があります。また、新たな地域に声をかけるだけでなく、以前交流した地域にも当たってみてはどうか。

交流分野を広げていく

青木さん：交流分野を文化・芸術、教育だけでなく他の分野に広げていくことが必要で、その場合、交流方法も含めての検討が肝心です。文化・芸術はどうしても舞台のパフォーマンスを優先していましたが、これからは鳴り物、踊りだけではない分野の交流を考えていく必要があると思います。華道も茶道もアピール性を持つように交流の方法を工夫してほしいと思います。また、スポーツ交流ができると若い人が参加できます。

お互い 20 年を振り返ってどうでしたか?

森山さん：私はあいまいなところがあるのに対して、青木さんは常にストレートですが、交流に対する姿勢や考え方は一貫していて、基本的な部分で理解できました。

青木さん：私の場合、1+1=2 で、ストレートに言う性分ですので補っていただきました。森山さんは県の組織を熟知し、知らない分野でもうまく仕切った的確に対応されました。交流の方向性が一貫していて信頼できたことがよかったです。



2019 年州知事公邸を訪問

令和6年度事業計画

[事業方針]

CWAは今年で20周年を迎えました。この間、会員交流、広報活動と友好使節団の受け入れ・派遣など事業を通じて Wisconsin の市民との交流を深めてきました。令和6年度は、前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方に Wisconsin 州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。

[事業内容]

1 定例会の開催

- ・理事会、総会：各1回
- ・運営委員会：原則として毎月第二土曜日に開催、委員会の前に各部会を開催

2 Wisconsin州との交流事業の企画・運営

- 千葉県友好使節団の派遣
- ・時期：令和6年10月26日～11月3日
- ・派遣団員数：10名程度

3 会員等交流事業の開催

- ・CWA設立20周年記念交流会（6月22日（土））
- ・新任ALT歓迎会（9月頃予定）
- ・食文化交流会（11月頃予定）

4 CWAの活動及びWisconsin州に関する広報事業

- ・CWANEWSの発行（3回）
- ・CWAホームページによる各種情報提供
- ・各種イベントへの参加
- ・Wisconsin州及び同州との交流に関する情報収集

令和6年度 収入・支出予算

1 収入の部

単位:千円

| 科 目 | 6年度(A) | 5年度(B) | A-B | 備 考 |
|----------|--------|--------|-------|--------------------|
| 会 費 | 576 | 598 | △ 22 | |
| 補 助 金 | 1,150 | 1,150 | 0 | |
| 県運営費補助 | 150 | 150 | 0 | |
| 県事業費補助 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 交流事業等参加費 | 1,190 | 255 | 935 | 食文化交流会 友好使節団負担金 |
| 繰 越 金 | 3,975 | 3,504 | 471 | |
| 計 | 6,891 | 5,507 | 1,384 | |

2 支出の部

単位:千円

| 科 目 | 6年度(A) | 5年度(B) | A-B | 備 考 |
|--------------|--------|--------|-------|-------------|
| 運 営 費 | 297 | 297 | 0 | 印刷費、消耗品費等 |
| 事 業 費 | 3,684 | 2,777 | 907 | |
| 会 議 費 | 80 | 150 | △ 70 | 理事会、総会 |
| 友好使節団派遣・受入事業 | 2,920 | 1,900 | 1,020 | 旅費、派遣報告書 |
| 会員等交流事業 | 274 | 255 | 19 | |
| 広 報 事 業 | 410 | 472 | △ 62 | CWA NEWSの発行 |
| 予 備 費 | 2,910 | 2,433 | 477 | |
| 計 | 6,891 | 5,507 | 1,384 | |

令和6年度 千葉Wisconsin協会の役員・運営ボランティア（令和6年8月1日現在）

| 役 職 名 | 氏 名 | 所 属 等 | 役 職 名 | 氏 名 | 所 属 等 |
|-------|--------|--|-------|--------|--------------------------------------|
| 特別顧問 | 熊谷 俊人 | 千葉県知事 | 理 事 | 宮崎 義政 | 千葉県太鼓連盟会長 |
| 顧 問 | 長谷川 孝夫 | 鴨川市長 | | 高橋 秀行 | 千葉県酪農農業協同組合連合会代表理事会長 |
| | 太田 洋 | いすみ市長 | | 福水 勝利 | 千葉県立成田国際高等学校校長 |
| 会 長 | 茂木 友三郎 | キッコーマン株式会社取締役名誉会長 取締役会議長 (Wisconsin州名誉大使) | | 伊能 敬之 | 千葉県総合企画部地域づくり担当部長 |
| 副 会 長 | 大石 道夫 | 公益財団法人かずさDNA研究所理事長 | 監 事 | 中村 耕太郎 | 公益財団法人千葉県産業振興センター理事長 |
| | 大澤 克之助 | 株式会社千葉日報社代表取締役社長 | | 戸塚 隆友 | 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 千葉貿易情報センター所長 |
| | 佐久間 英利 | 一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長 | | | |
| | 清水 生也 | 公益財団法人千葉県文化振興財団理事長 | | | |
| 常務理事 | 吉田 和彦 | 公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー代表理事 | | | |
| 理 事 | 青柳 洋治 | 千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長 | | | |
| | 伊藤 浩行 | 学校法人東京理科大学理工学部部長 | | | |
| | 山崎 清美 | 一般社団法人千葉県経済協議会会長 | | | |
| | 三枝 紀生 | 一般社団法人千葉県経営者協会会長 | | | |
| | 山崎 清美 | 国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 | | | |
| | 佐久間 英利 | 千葉県経済同友会代表幹事 | | | |
| | 龍野 一郎 | 千葉県立保健医療大学学長 | | | |
| | 横手幸太郎 | 国立大学法人千葉大学学長 | | | |

| 【運営スタッフ】 | | |
|---------------|-------------------|--------|
| 派遣・受入事業部会 | 会員等交流事業部会 | 事務局 |
| 大浦 雅己(アドバイザー) | ○阿部 昭夫 | 宮崎 順紀 |
| 森山 茂男(委員長) | 石井 崇子 | 佐藤 有華 |
| 安藤 忠男(事務局長) | 三橋 早苗 | 新宅 光一 |
| 青木 靖子 | 山崎 静江 | |
| 小川 鉄次 | 広報部会 | |
| 浅沼 明夫 | 大原美保子(副委員長) | |
| ○笹生 健司 | ○宮崎 忠夫 | |
| | Maximilian Gumble | |
| | | ○印は部会長 |

| 【イベントスタッフ】 | 【PRスタッフ】 |
|------------|----------|
| 角田トミ子 | 榊田 直美 |
| 慶児 聡子 | |
| 薄井まどか | |
| 加藤 由恵 | |
| 小川 智子 | |

[編集後記]

今回はCWA設立20周年記念交流会の様子をお伝えするとともに、『20年のその先へ』をテーマにCWAに関わりの深い3名の方から伺ったお話を紹介させていただきました。今年は久しぶりに友好使節団をWisconsin州に派遣する予定です。高校生中心の団員たちがどのような感動を味わってくるのか楽しみです。CWAは引き続き交流の輪を広げてまいります。

発行所：千葉Wisconsin協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<https://chiba-wisconsin.net/>

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟 14階
(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

